いま、土岐のこども

市内の小中学校の児童・生徒が学校生活で頑張っていることを紹介します。



妻木小学校６年　伊藤　衣舞さん

私の想い

妻木小学校には、あるボランティアがあります。それは、花壇ボランティアです。４年生以上の児童を含む三世代が参加し、毎年６月と10月に活動しています。

私が花壇ボランティアに参加する理由は、私たちのがんばりやみんなで協力して心を一つにする気持ちが、整備された花壇から分かってもらえると思うからです。もしかしたら、車で通る時に気付いてもらえないかもしれません。でも何度も何度も花壇ボランティアに参加して、分かってもらえるようにがんばります。

この６月に５回目の活動をしました。今回は20人の小学生が参加し、暑い中でしたがみんなで地域の方と力を合わせてがんばりました。みんなが参加することで、よりいい花壇にできるといいなと思います。そうすれば、地域の人とのふれあいも多くなり、みんなの努力やチームワークが高まると思います。

自分の住んでいる町がよりよくなるよう、より明るくコロナに負けない町になるよう、私たちができる行動を１つずつ始めていきます。

CONTENTS　目次

広報とき2022年7月号
vol.1742

02　いま、土岐のこども
03　特集　地球温暖化ってなあに？
06　ときげんきプロジェクト　infoヘルスアップ
08　ときっこ子育て
10　Photo Sketch
12　コラム　人権のまど／Re Start／陶都のまもり／ようこそ手話の世界へ
14　市からのお知らせ
令和３年度土岐市財政事情の公表／令和４年第３回市議会定例会／新型コロナワクチン４回目接種のご案内／後期高齢者医療制度の保険証更新／令和５年４月採用の土岐市職員を募集／第21回土岐市文芸祭作品募集　など
21　情報ひろば
25　読書のすすめ
26　美濃陶磁歴史館だより
27　いきものふれあいの里　陶史の森だより

SNS　＃土岐市

緊急情報やイベント情報などを発信します。ぜひフォローしてください。

LINE

Facebook

Twitter

Instagram

［表紙の一枚］

第７回土岐ふるさと塾が核融合科学研究所で開催され、19組の親子が最先端の科学技術を学びました。参加者たちは、体に静電気をためる実験や、超電導リニア中央新幹線を再現した実験を体験したほか、製作したオリジナルのリモコンロボットを使った大相撲大会に参加するなど、親子で一緒に楽しんでいました。